

くまむら

議会だより

2011.4.25

63号



卒業証書授与式



球磨中卒業式（3月13日）

球磨中で過ごした経験や、多くの友達との出会いは、これからの人生において大切な宝物になることでしょう。

球磨村世帯数 1,620世帯
人口 4,483人・男 2,129人・女 2,354人
(H23年3月31日現在)

発行……球磨村議会

編集……球磨村議会広報特別委員会

熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地

Tel (0966) 32-1111

目次

3月定例議会……………	2～3
予算、要望及び視察報告 ……	4
一般質問 ……………	5～9
旬の話題 ……………	10

3月定例議会

役場出張所を開設

渡・神瀬多目的集会施設で週1回

平成23年第2回(3月)定例会は、3月11日から18日までの8日間の会期で開かれました。提案された案件は、条例の制定2件、条例の一部改正2件、指定管理者の指定2件、村道路線の認定1件、平成22年度球磨村一般・特別会計補正予算6件、平成23年度球磨村一般・特別会計予算5件の18議案でした。

定例会は初日、東日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げた後、開会しました。始めに12月定例会以降の諸般の報告、監査報告、会議録署名議員の指名があり、会期の決定、一部事務組合議会(人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合)の報告、続いて、桺詰村長から、平成23年度施政方針が述べられ、提出議案の提案理由の説明がありました。

休会日をはさんで、14日には、一般質問に5名の議員が登場、行政課題、施策などへの質問を行いました。

会期5日目の15日は、田舎の体験交流館「さんがうら」の設置及び管理に関する条例、球磨村子ども医療費支給に関する条例の制定や村職員の育児休業等に関する条例、並びに村立学校施設の使用に関する条例の一部改正、一勝地交流センター「かわせみ」、同じく、球磨村高齢者生活福祉センター「せせらぎ」の指定管理者の指定、村道路線の認定などの議案が審議さ

れ、可決しました。次に、予算に関する議決議案では、平成22年度一般会計補正予算が慎重審議により、延会となりました。16日は自宅審議のため休会。

17日には、平成22年度一般会計補正予算の審議から始まり、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の各補正予算が審議の結果、いずれも、可決しました。次に、平成23年度球磨村一般会計予算では、事業費等の審議が、最終日にも行われることとなりました。

最終日の18日には、平成23年度一般会計予算が審議後、可決成立、平成23年度の各特別会計予算についても慎重に審議さ

れ、可決しました。最後の議案では、東日本大震災義援金500万円を計上した平成22年度球磨村一般会計補正予算を審議、可決したことにより、平成23年第2回定例会はすべての議案の審議を終え、閉会しました。



条例

○議案第3号

・田舎の体験交流館「さんがうら」の設置及び管理に関する条例の制定

田舎の体験交流館「さんがうら」と命名された旧一勝地第二小学校を農業体験の交流施設として活用するための施設の設置及び管理に関する条例の制定です。

○議案第4号

・球磨村子ども医療費支給に関する条例の制定

球磨村乳幼児医療費支給に関する条例により、乳幼児疾病の早期治療促進として、医療費の一部助成の支給範囲を満6歳としていたのを、小学校6年生まで広げ、子ども医療費の負担軽減を図るものです。

○議案第5号

・球磨村職員の育児休業等に関する条例の制定

国家公務員の育児休業等に関する法律等の一部を改正に伴う村条例の一部改正です。

○議案第6号

・球磨村立学校施設の使用に關する条例の一部を改正する条例の制定

田舎の体験交流館「さん

がうら」の設置管理に伴い、従前学校施設として使用料を規定していたものを移管するもの。また、他の学校施設のうち活用が決定する当分の間、旧俣口分校、旧神瀬小学校に名称を変更、併せて一勝地第一小学校を一勝地小学校に名称を変更するもの。

○議案第7、8号

・一勝地交流センター「かわせみ」並びに球磨村高齢者生活福祉センター「せせらぎ」の指定管理者の指定

指定管理者としての期間の満了に伴い、告示により新たな指定管理者の公募を行った結果、一勝地交流センター「かわせみ」には株式会社球磨村ふるさと振興公社から、また、球磨村高齢者生活福祉センター「せせらぎ」には、社会福祉法人球磨村社会福祉協議会からの申請があり、指定管理者委員会にて審査を行い、

それぞれの団体を指定管理者の候補にあげ、議会の決議を経て指定するもの。

○議案第9号

・村道路線の認定

渡今村地区内の里道を村道として管理するための認定。

補正予算

平成22年度補正予算

○議案第10号

・平成22年度球磨村一般会計補正予算（第6回）

主なものとして、緊急総合経済対策「住民生活に光をそそぐ交付金」の事業に伴うものです。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、1億32,145千円追加、歳入歳出予算の総額は33億08,142千円となります。

歳出の主なものは、人事院勧告により、給与及び賞与の人件費を9,844千円減額、退職手当組合特別負担金16,950千円追加、国有林購入費4,000千円、一勝地診療所のレントゲン機器導入補助として

2,000千円を追加するもの。また、特別養護老人ホーム千寿園への補助金35,000千円のうちの28,995千円を交付金として充当するための財源組替ほか、一勝地小学校、渡小学校営繕工事実施に伴う起債額11,400千円の財源組替による減額。財政調整基金積立金1億04,777千円、村有施設整備基金積立金50,004千円を計上。歳入では、村民税所得割を5,200千円減額、地方交付税は実績により1億25,060千円を追加、直営林売払収入8,950千円などが計上されています。

○議案第11号

・平成22年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算（第2回）

歳入歳出にそれぞれ、38,618千円を減額し、歳入歳出総額それぞれ5億69,060千円とするものです。

○議案第12号

・平成22年度球磨村老人保健医療特別会計補正予算（第1回）

歳入歳出に4,065千円をそれぞれ追加し、歳入

歳出総額をそれぞれ14,390千円とするものです。

○議案第13号

・平成22年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）

歳入歳出それぞれ、7,111千円を減額し、歳入歳出総額をそれぞれ53,129千円とするものです。

○議案第14号

・平成22年度球磨村介護保険特別会計補正予算（第3回）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、4,137千円を減額して、歳入歳出総額をそれぞれ5億81,894千円とするものです。

○議案第20号

・平成22年度球磨村一般会計補正予算（第7回）

東日本大震災義援金5000千円を計上。歳入歳出予算の総額にそれぞれ、5,000千円を追加、歳入歳出予算の総額は、33億13,142千円となりました。

平成23年度予算

○議案第15号

・平成23年度球磨村一般会計予算
予算規模は前年度当初予算に比べ38,000千円、

1・3%増の28億90,000千円として編成。

○議案第16号

・平成23年度球磨村国民健康保険特別会計予算

被保険者数の減少等での療養給付費の負担額減少が見込まれることから、前年度予算額に対し、8,000千円を減額し、予算総額歳入歳出それぞれ5億98,000千円を編成したものの。

○議案第17号

・平成23年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算

予算総額歳入歳出それぞれ、57,124千円を計上しています。

○議案第18号

・平成23年度球磨村介護保険特別会計予算

予算総額を前年度当初予算比74,260千円増の歳入歳出それぞれ6億55,471千円で編成しています。

○議案第19号

・平成23年度球磨村簡易水道特別会計予算

予算総額歳入歳出それぞれ1億09,000千円を計上。

平成23年度 一般会計予算の主なもの

入 歳

村 税	228,009千円	県 支 出 金	231,847千円
地方譲与税	34,400千円	財 産 収 入	25,078千円
地方消費税交付金	30,000千円	繰 越 金	50,000千円
地方交付税	1,645,000千円	村 債	373,400千円
国庫支出金	200,823千円	使用料及び手数料、その他	71,443千円

計 2,890,000千円

歲出

議 会 費	77,715千円	土 木 費	175,269千円
総 務 費	586,784千円	消 防 費	131,184千円
民 生 費	787,221千円	教 育 費	249,788千円
衛 生 費	255,951千円	公 債 費	353,315千円
農 林 水 産 業 費	241,718千円	災 害 復 旧 費、その他	13,011千円
商 工 費	18,044千円		

計 2,890,000千円

議会要望生活活動並びに現地調査、視察を実施



八代河川国道事務所への要望

1月31日、全議員と柳詰村長は、河川改修事業の促進に関する要望及び淋地区「かわまちづくり」事業について、八代河川国道事務所笠井所長、森崎副所長ほか関係職員に要望事項を依頼後、要望書を手渡しました。また、2月22日には、同様の要望を九州地方整備局中嶋局長、森川河川調査官他へ事業推進を図る要望書を提出しました。

一方、熊本県に対しては、2月3日、熊本県庁にて、熊本県議会松田三郎副議長、松村昭議員を交え、熊本県土木部戸塚部長、猿渡道路整備課長他へ、河川事

業の促進に関する要望、道路事業の整備促進に関する要望、砂防・急傾斜事業の整備促進に関する要望活動を行いました。



今村地区の村道認定路線の現地調査

第2回定例会の5日目、3月15日には、定例会の議案にある渡今村地区の村道認定路線の現地調査を行い、その後、生活排水路についても現地状況の把握に努め、担当課より説明を受けました。また、田舎の交流館「さんがうら」の施設の隅々まで調査、改修状況、施設の利用等についての意見の交換を行いました。

三月定例 一般質問

住民提案型交付金 制度を創設できな いか

長
事業に応じた補助制度を利
村
用できるよう支援します

田代 利一議員

一、地域づくりについて
二、行政区再編による報酬について
三、譲業牧場について

田代議員

〓 本村の重要問題として少

子高齢化があり、行政区の広域化により集落機能がどのように変化したか、また、後継者不足により地区内の維持管理に支障をきたす状況であり、住民提案型交付金制度を創設できないか伺います。

村長

〓 住民参加の地域づくりは大きな問題であり、集落の伝統的なものは残し、維持が困難なところは全体的に広範囲で考え、助け合う行政区をつく

るのが願いです。地区が自由に使える補助金制度については、現実的には目的がある事業にしか補助金は出せませんので、事業に応じた補助制度を利用できるよう支援をしていきます。

田代議員

〓 次に、人口の偏在化につ

いて、村長はどう思われますか。

村長

〓 生活、勤めの関係や定住促進事業での移動もあり渡地区に集中した感じになっており、全体的なバランスがとれればいいのですが、このようなことも含め、今回は一勝地区に住宅の建設をと思っ

田代議員

〓 これからは少子化とともに高齢者世帯が多くなっ

ていきます。地域文化、集落機能維持の指導をお願いします。

次に、急激な人口減少が進むなか行政区の再編がなされ3年が経過します

が、区長手当の減額、班長手当の廃止で引き受ける人がいない地区もあると聞きます、村長の考えを伺います。

村長

〓 地区人口も減少していくなか、行政改革として当然取り組みべき課題だと思いました。村の条例により班長報酬は出せませんが、班の活動費として平等割、世帯割で助成をして

り、班長手当も班の活動費として使われているところもあります。

田代議員

〓 班長の仕事は、区長のときとかわらず地区の負担が大きくなっています。班に対して、活動費は上げられないか伺います。

村長

〓 集落の機能が難しくなっているのは解りますが、人口は減ってきており活動費だけ上げるのもおかしく、集落の中で話し合っていたく問題だと思います。

田代議員

〓 今まで培われてきた集落機能も希薄になってきており、前向きな検討をお願いします。

次に、譲業牧場が錦江

ファームに払い下げが決定し、その後の関係地区の説明会の内容について伺います。

村長

〓 牧場を再開するには、環境問題と地区住民の理解が必要で、地域からは水質の影響を心配する声が多かったようです、水質汚染の防止には絶対的な配慮をおこない、今後は環境維持保全と企業立地の協定を結ぶ計画です。



牧場の再開が進む譲業牧場

田代議員

〓 食肉も販売されており、かわせみで利用するとか、観光面でもつなげればと思います、村の畜産組合との連携も必要とおもいますが。

産業振興課長

〓 畜産会、牧場側ともお互いに連携がとれるように話をしていきます。

村長

〓 今の時点では、牛の繁殖が目的で繁殖牛の放牧を考えておられるようです。要は地域の方と譲業牧場との交流を進めていくことが大事だと思います。

(質問時間60分)

渡と神瀬に役場出張所の開設を

長 4月から窓口業務を試行的に始めます。

多武 義治議員

- 一、経済活性化を目的に継続的な商品券の発行を
- 二、役場出張所の開設について
- 三、財政状況について

多武議員

Ⅱ 役場出張所の開設について伺います。この件に関しては、これまで2回にわたり要望してきました。

せめて、渡と神瀬にある多目的集会所を利用して、なんとか出張所ができないかというのが、これまでの私の考えです。しかし、村長の反応がいまひとつでしたので、今回も取り上げています。神瀬区長会からも、要望書が提出されていますが。

村長

Ⅱ 職員数の削減など行政改革を進めている中、職員を常時配置する出張所の設置は厳しいと言わざるを得ません。しかし、村民の利便性は考えなければいけません。そこで、4月から週1回、渡と神瀬に出向いて9月まで、試行的に窓口業務を実施したいと

計画しています。

多武議員

Ⅱ 行政改革と村民の利便性の向上とが違うように聞こえますが、行政改革の目的のひとつとして、質の高い行政サービスを目指すことも重要です。したがって、行政改革と村民の利便性の向上は一体的であろうと思います。また、現在の職員数は75名です。その他にも、新年度から嘱託・臨時職員で60名を超える予定です。合わせて130名を超える職員数で、渡と神瀬の出張所に2名ずつ計4名の配置ができないのか不思議に思います。

村長

Ⅱ 行政改革の目的については、言われたとおり私もそう思います。また、職員数の話がありましたが、新年度は、雇用対策で県の基金を利用して採用する職員も多数あります。ただ、1年間の契約で長期的に雇用するということではありません。したがって、出張所を開設すると4名の職員が必要になり、財政的な負担などの問題が出てくると思います。

多武議員

Ⅱ 4月から窓口業務を週1回試行的に行うということですが、利用者が少ないからやめることがないようにはしてほしいと思います。一歩前進した感じはありますが、「はい」とま

では言えない状況です。私は、出張所の役割として証明書類の発行業務以外にも、行政へのさまざまな相談事への対応や、地震、火事、大雨などの緊急時における素早い対応が上げられると思います。そこで、住民の安心感が生まれてくるわけです。試行期間の結果にとらわれず、常駐型の出張所の開設を強く要望しますが、答えは一緒ですか。

村長

Ⅱ 答えはわかっていると思います。ただ、神瀬区長会からも出張所開設の要望書をいただいています。住民の方の、一定のサービスを一生懸命考えていきたいと思っています。また、試行期間については、6ヶ月後どのようなサービスがその先できるか、そういうものを探る期間ですので、誤解のないようにお願いします。

この他、多武議員は、村内経済活性化を目的に商品券発行の予

算化の要望理由として、これまで村外にお金を落としていたものを村内事業者に振り向けることが重要との意見に、桺詰村長は、新年度で予算を計上し村内経済の活性化を図りたいと答えました。また、同議員は、球磨村の財政状況についても質した。

(質問時間50分)



4月から試行的に始まった役場窓口業務サービス

交流館完成後は地域との連携、盛り上がりも大切です

長 施設の見学会を開き、地域の皆さんとのコミュニケーションを図ります

毎床 文博議員

一、旧一勝地第二小学校の整備について
二、安全な交通基盤の整備について

毎床議員 旧一勝地第二小学校を農

林業体験・交流の拠点とする目的で整備が進められていますが、進捗状況を伺います。

村長 先般愛称募集の審査により、

施設の名称を田舎の体験交流館「さんがうら」に決定しました。改修工事は4月1日の開所に向けて順調に進んでいますし、職員は事務と調理者2名は内定していますが、管理者は運営の要でもあり、企画力、営業力、人柄など慎重に審査を行ったところですが、3月末には運営委員会を立ち上げる予定です。

毎床議員 事業を成功させるには

都市部からの集客をいかに確保する

かにあり、PRの内容、方法、依頼機関について伺います。

産業振興課長 パンフレットを作成

し村の広報紙、カワセミ会、県内の学校及びメディア関係など広くアピールします。

毎床議員 三ヶ浦地域は、体験事業

に活用される産業、自然も多いですが、体験学習の指導者と名簿登録は進んでいますか。

産業振興課長 人材の発掘、講師の

候補者として45名をリストアップしています。登録は運営委員会で検討し決定します。

毎床議員 事業に対する関係者の意

識共有化が必要であり、登録メンバーの活発な活動がアピール効果となるものと思います。また、学校も食育としての体験学習が進んでいますが教育委員会の対応を伺います。

教育長 村内の社会教育団体の利用

を図り、また、郡市の教育委員会を通じて小中学校の利用を促進します。

毎床議員 次に、地域との連携につ

いては、現在まで、座談会、活用協議会は開催されていますが、まずは三ヶ浦の方が愛着をもっていただき、地域全体が盛り上がりも大切です。村長の考えを伺います。

村長 リーダーの方は自分達が頑張

らねばとの理解もあり、地域の皆さん方も巻き込んでいただき、協力団体のバックアップ体制も必要です。開所後に施設の見学会を開き、さんがうら職員と地域皆さん方とのコミュニケーションを図ります。

毎床議員 受け入れの主なシーズン

は春から秋の7ヶ月しかないことを考えますと、オープンは少しでも早い方がいいのではないのでしょうか。村長の考えを伺います。

村長 年間を通じてお

客様を呼び込めればと思います。スケジュールなどは運営委員会に提案しますが、年間の事業計画、事前の営業活動、予約募集などの準備を行い7月1日のオープンを考えています。

毎床議員 次に、安全

な交通基盤の整備について伺います。村は、危険箇所整備など住民が安心して行き来できるよう道路の整備を促進しなければなりません。そこで、危険箇所の把握及び住民の利便性を考慮した、道路整備についてそ

の状況を伺います。

建設課主幹 危険箇所は調査を行

い、道路台帳の整備をしています。

村長 国道、県道は、危険箇所に限

らず改良も含めて国、県に対して要望しています。村道は、地区の要望や職員の報告を受け、調査をして財政的な状況を見ながら改修を行っています。

毎床議員 地域の平等性、住民へ配

慮した対応をお願いします。

(質問時間50分)



整備中の田舎の体験交流館「さんがうら」

人口減少・少子化・高齢化の対策について

長 活動を展開するための組織の整備を含め支援していきたい

高澤 康成議員

- 一、人口減少・高齢化、少子化の問題について原因と対策について
- 二、指定管理者制度について
- 三、グリーンツーリズム拠点整備について

高澤議員

球磨村は、人口減少率が県下で一番ですが、村長の掲げる四つの柱の中で人口減少・高齢化・少子化についてのその要因を伺います。

村長

村長就任以来、環境・活力・教育・共生を柱に村政を進めております。しかし、人口減少については歯止めがかからず少子化・高齢化も顕著になっていきます。要因として社会的な減少、未婚化・晩婚化に尽きるだろうと思います。

高澤議員

少子化に対しての対策

の一つに医療費拡充をしていただいた事は大変評価しております。人口減少に伴う将来的問題に対し、行政主体でなく住民の方が危機感を持ち自ら地域活性化をやっていく、住民の意見を反映できる特別委員会設置の考えはありませんか。

村長

教育委員会にも頑張つて頂き、活動を展開するための組織づくりも必要だろうと思います。住民側の意見としてどういう考えを持つていたか、今後5年後、10年後を考えますと非常に大きな問題でありますので前向きに検討していただきたいと思います。村も色んな面で支援していきたいと思っています。

高澤議員

次に指定管理者制度について伺います。この制度の狙いは、公的な団体や自治体が出資する第3セクターに限られていた公的施設を広く開放し、サービスと効率の両面で民間の知恵を導入する事にあります。現在、この制度を利用している施設の運営状況を伺います。

村長

かわせみが指定管理を行つ

ています。財政状況でありますが高澤に厳しいものがあります。この施設は、村が100%出資をした会社で経営しております。また、施設も村の財産でありますので建物の修繕等は、今後村が支出して行かなければならないだろうと思います。せらぎも指定管理をしています。経営的にはいまのところ良好ですが、国の制度も変わり、一方で職員の仕事の待遇改善も行わなくてはいけないと思います。

高澤議員

指定管理者制度の意義を伺います。

総務企画課長

施設運営でのサービス向上による利用者の利便性の向上、あるいは管理運営経費の節減、削減による施設を所有する地方公共団体の負担の軽減が考えられているようです。

高澤議員

これまでに村がかわせみの施設費に使った経費を伺います。

産業振興課長

平成8年のオープンから21年度まで1億4千万円使っております。

高澤議員

指定管理者制度の問題点に、地方公共団体が出資者となり第3セクターなど指定管理者となり管理料以外の費用を公共団体側が負担していることがあります。確かに100%出資で村の施設であります。この場合、財政支出の項目が2種類以上にわたるため、実際施設の運営に対し公共団体が経費を負担しているのが極めてわかりづらいという問題点が上げられ、かわせみの運営に対しても問題視されるのではありませんか。

村長

100%出資した会社と施設問題は別と考え頂きたいと思っています。ぜひ、黒字経営になるよう務め、行政からの負担が無いよう危機感をもって取り組んでいきます。

その他、高澤議員は、グリーンツーリズム拠点整備についても質した。

(質問時間60分)

村民サービスへの 窓口業務は

長
きめ細やかな対応に努
めていきます

村
長

一、役場の窓口業務について
二、国道への取付道路について
三、渡地区の内水排水について

嶽本議員

〓 役場の窓口業務につい

て、住民より次の件が寄せられました。一点目は、球磨村の税の自動払い込み用紙に記入し、役場へ送付したら、「口座引きおとしの申請書につきましたは、該当金融機関へ提出してください。役場へは、金融機関経由で進達されます。」と役場から返送されました。その本人は、役場から金融機関へ転送出来るものと言っておられました。二点目は、文書送付です。A4の用紙に記入して、折りたたまないで、返送してくださいと、手紙用の封書が添付してありました。受け取られた方は、温厚な方で、A4の封書を買ひ、折りたたまないで返送されたそうです。ところが、一年後、また同じような

ことが起きました。その方は、激怒されました。三点目は、窓あき封筒に、名前が折りたたまれた状態で送達されたケースが、たびたび発生している状況にどう思われますか。

村長

〓 各課の文書送付について、ご指摘のようなことは大変残念に思

うし、申し訳なく思っております。課長会で、職員に十分注意するよう努めています。

嶽本議員

〓 各課からの文書送付や

納付の件など、課長会だけでは、徹底されていないと思います。再教育の考えはありませんか。

村長

〓 職員については、日ごろから村民の皆さんに、優しくコミュニ

ケーションをとりながら職務に当るよう指導しています。

嶽本議員

〓 次に、国道への取付け

道路で、渡駅前村道大槻線の入口が狭く危険箇所でありますので、拡張の計画はないか伺います。

総務企画課長

〓 信号機の電柱が死

角になっております。交差点協議会でも非常に難航しております。県や警察と協議をしながら、拡張したいと思っております。

嶽本議員

〓 用水路も強固にしてい

ただき、用地買収も再度お願いしておきます。次に、危険箇所の村道馬場線の入口について改良の考えはありますか。

総務企画課長

〓 入口の山側を広げ

ることは、莫大な金額が必要になり、財政の問題もありますので、集落に近いほうより順次改良を進めております。

嶽本議員

〓 馬場の入口につきまし

ては、国道側の拡張もお願いします。次に、一王子バス停付近の村道相良橋城山線の交差点についても毎年、事故が起きておりますが。

村長

〓 手動式信号機の交差点と

変形4差路が25メートル以内に二ヶ所もあり、両方に信号機設置は法的に不可能です。山口側の水田の方を拡張し歩道を、県にお願いしております。

嶽本議員

〓 石水ドライブインか

ら、一王子バス停までの歩道が狭く自転車での往来も下り坂と重なり危険です。歩道も含めた改良をお願いします。次に、渡地区の内水排水について、小川川の築堤工事状況について伺います。

村長

〓 球磨川の増水時による内

水排水は、国交省、小川川の築堤については、県の方で工事が進んでおります。

嶽本議員

〓 樋門までの水路につい

ては、水路の決壊や、水路内の雑木等が多く、本来の水路の役目にとほしいところがあります。生活排水路、道路側溝の雨水排水路、農業用水路の整備不良も多く見られます。青写真をつくり、計画性をもって進めていただくことをお願いします。

(質問時間60分)



改良が待たれる渡駅前村道大槻線

旬の話題

「歴史を刻む」 一勝地小学校総合落成式

球磨村立一勝地小学校 校長 中村 和弘



「わあっー。きれかー。すごい。」空を見上げ、一斉に沸き起こる大歓声。雲ひとつない青い空を、風に吹かれてグングンと空高く舞い上がる二百の風船は、一勝地小学校の輝かしい未来を祝福しているかのようでした。式典では村長の式辞、そして来賓の方々の祝辞。そして式典の後半となり、いよいよ全校児童によるアトラクション「出会い、そしてありがとう」の発表です。子どもたちは、新しい学び舎で勉強することの喜びと感謝を、友だちを信じ励まし合うことを、家族そして「ふるさと球磨村」を愛していく気持ち

ちを呼びかけました。この後、低学年は「いのちの歌」、高学年は「コスモス」を歌い、最後に全員で「校歌」を披露しました。多くの方々から「感動しましたよ。」と褒めていただきました。私は日ごろから、子どもたちに、保護者の皆様に、そして地域の皆様に伝えている言葉があります。それは「私の自慢の96人の子どもたち」という言葉です。式典の中の子どもたちは、正に「私の自慢の子どもたち」でした。



編集後記

さる、3月11日東日本大震災の映像が流れるたびに胸うつのは村民皆様、同じでしょう。今回の地震で被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに亡くなられた方々に心よりご冥福をお祈りいたします。

県内でも、たびたび震度2程度の地震が発生しております。

大地震の予兆ととらえ、今いちど心の準備をお願いいたします。

(嶺本 孝司)



広報委員長	多武 義治
広報副委員長	高澤 康成
広報委員	毎床 文博
広報委員	嶺本 孝司